
仮面ライダー 5 5 5 × とある科学

投光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダー 555 × とある科学

【著者名】

Z4989Z

【作者名】 投光

【あらすじ】

仮面ライダーと科学が交差するととも、黒きボディが赤に変わ
る

Hプローグ

「」は、学園都市でもかなり広い施設の一角、見
た田社長室…といわんばかりの
豪華さのある部屋の入り口に近い机に座っている女
子が書類整理に没頭している

「・・・これと、あれは提出で、これは・・・は？領
収書？」

15歳ぐらいの女の子は、見覚えのない紙に驚き、「」
にいる入り口から少し歩いた所の
正面の机に座っている男に声をかける

「ねえ？これ・・なにかな～」

紙を見せて笑つてない笑顔で男に声をかける

男は学園都市の中では不恰好な携帯を開きながら答える

「なにして、領収書」

即答だつた

「ああ～、もつ！また勝手に組織のお金使つてしま～！今

回なに食べたのよ」

「パフェ10、ケーキ16、「一ヒー9かな」

「きいこいいいいいいい

女の子は自分の髪を両手で搔き終わった後、再び男の方を見る

「・・・今日は、仕方なく、仕方なく許してあげるから」

男は驚いた、だつていつもなら説教が永遠と続くからだ

「『仕方なく』を強調するんじゃねえよ、小桜」

「あんたにいつたって、『無駄』なのは、私でもわかるわよ」

今度は『無駄』を強調されて男はやれやれといった口調で話を変える

「で、怒つてないとしたら何なんだ?」

小桜と呼ばれた女の子は一呼吸ついた

「・・・ふう、最近私達が守っている区域で感電して黒焦げになつている人間や発電所がいかれて停電が頻発してるって、知つていいのでしょ」

「ああ、俺のアパートも前の停電をきっかけで停電対策をするつてたな」

「今回の仕事はその子の更生よ」

「と、言つと俺に何をしろと?」

「その子のそばで問題行動を起こさせないと、これは別件でオルフェノク増殖の謎を調査してほしいのと、これに関連してその子の保護を」

オルフェノクといつ言葉に男は動きを止めた、最近学園都市の中で、死人が生き返り、謎の超能力、突然変異^{メタモルフォーゼ}を使って人を襲つているらしい

「で?俺に何でその問題児を保護しなきゃならな

」

「超能力者(レベル5)」

再び男の動きが止まり今度は小桜を上目で見る

「資料と詳しい詳細はこの封筒にあるから

「じゃあ私、資料出してくるからね、巧^{たくみ}」

小桜は封筒をパンパンとたたくと部屋を出て行つた

「・・・・ふつまいいか、あんなこと死んでも変

わらんか」

男は不恰好な携帯とアタッシュケース、封筒を持つ

て出て行つた

しかいない

電気を使えその上超能力者（レベル5）といえば一人

「…………御坂 美琴か」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4989z/>

仮面ライダー555×とある科学

2011年12月16日22時46分発行